

事例④ 実践の評価・成果の共有

小学校

中学校

高等学校

★ポイント

- 実践を報告し合うことにより、目標に対する取組状況についての共有化を図るとともに、今後の取組への意欲を高める。
- 「よかったこと」や「成功例」について発表し、「努力したこと」や「貢献できたこと」に焦点を当てて実践を振り返り、評価し合う。

■関連する視点：視点9—成果と課題の共有 視点10—継続・更新のための組織化

研修の計画

◇ 目的

実践を振り返り、対話を通して、成果を共有するとともに、次に行うことの見通しをもつ。

◇ 所要時間 ：約70分

◇ 方法・形態：4～6人のグループでの話し合い

◇ 対象者 ：全職員

◇ 展開

内 容	留意点	資 料
■研修の目的、方法、進め方等の確認 (5分)	目的を確認した上で、振り返りのルールを示すなどして、省察を効果的に進められるようにする。	・振り返りのルール ・ホワイトボード ・模造紙・付箋
■話し合い(振り返り)【テーマ例】※実践についての話し合い・報告のなかで話題にしたいこと		
1 何が起きたか (実践の報告) (20分)	①取組を始めたときはどんなことを考えていましたか。また、実践後の今はどのように感じていますか。その違いはどのようにして生まれたのだと思いますか。 ②取組の中で、特によかったことは何ですか。最も熱心に取り組んだり、手応えを感じたりしたのはどんなことですか。	・トピックになるシーンを特定して、情景やエピソードを語る。そのときの気持ちや思いを正直に伝えるようにする。 ・ターニングポイントとなった出来事や努力したことに焦点を当てて話し合う。 ・行動を中心に評価し、互いの貢献と奮闘を認め合う。
2 実践から何を学んだか (意味付け) (20分)	①取組の中で、気付いたことや学んだこと、さらに学ぶ必要があることは何でしょうか。(発見したことや学習したことの中で、最も大きなものは何ですか。)	・取組(実践・経験)から何を学んだのか自覚し、意味付ける。 ・自分とチーム(全体)の両面で考える。
3 次はどうすればよいか (話し合い) (20分)	①取組の中で、今後も続けるべきことは何ですか。やり方を変えなければいけないことは何ですか。新たに取り組んでみたいことは何ですか。 ②新しい取組に向けて、あなたはどんな貢献ができそうですか。	・実践から学んだことや得たことを明確にし、次の具体的な行動に生かす。 ・話し合った後で、明日からの行動に関わる部分は、紙に書いて貼り出すなどして、全員で共有する。
■振り返り (5分)	参考になったことや、これから取り組みたいことなどを振り返りカードに書く。	

◇ 評 価

これまでの取組を振り返り、実践から学んだことや気付いたことを整理し、次に行うことの見通しをもつことができたか。

研修の進め方

実践の報告 ー何が起きたかー

(例)総合的な学習の時間の報告会(夏季休業中)

各学年の学習の様子をプレゼンテーションにまとめて発表します。活動の様子が分かる写真や映像、学習カードやポートフォリオ、子どもたちの作品や発表資料などを示しながら、子どもが意欲的に取り組んだこと、指導の効果や手応えを感じた場面等について、具体的に伝えるようにします。



意味付け ー実践から何を学んだかー

複数学年でグループを編成し、実践から学んだことについて話し合います。

学年を越えて意見交換や協議を行うことで、子どもの実態や指導に関する情報を共有するとともに、各学年で育てようとする資質・能力や、内容の系統性について確認することができます。

話し合い ー次はどうすればよいかー

学校の重点目標や努力点との関連や、各学年で育てようとしている力を意識して、これからの活動を展開していきましょう。

子どもたちが、活動のめあてや成果をもっと意識できるような工夫が必要だと思います。

中間発表では、将来の夢や努力していることを発表できていたので、保護者や地域の人にも参加してもらって、感想を聞いたり意見交換したりする場を設けてはどうですか。

PTAや地域の方の協力を得るための方法を子どもたち自身が考える活動があってもいいと思います。



【振り返り(省察)のルール】(例)

- 事実に基づいて考え、話し合う。
- 自分の感情や思考、行動等について省みる。
- 実践する過程で「気付いたこと」「感じたこと」「わかったこと」「学んだこと」を語り合う。
- 前向きに話し合い、対話を通して、明日からできることを見つけ出す。

期待される振り返り

- ・子どもの様子を知ることができました。これからは、他学年の活動や教科等とのつながりをもっと意識して取り組んでいこうと思います。
- ・「総合」で育てたい力を再確認できました。子どもの自主性と教師の指導のバランスが大切だと思いました。

工夫

- 取組の様子が分かるようにするには・・・
 - 学習や指導の状況を記録しておきます。
 - ・活動の様子を写真や映像で記録する
 - ・特徴的な事柄をメモとして記述する 等
- 成果を次につなげるためには、・・・
 - 成果物や今後の目標(取組予定)が見えるようにします。
 - ・会議室や廊下に掲示する
 - ・研修だより等で紹介する 等

参考資料・情報

・栃木県総合教育センター「実りある『総合的な学習の時間』の実現のために』平成18年